

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小諸高原美術館・白鳥映雪館文化活動拡充事業
事業主体 (連絡先)	市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 〒384-0041 長野県小諸市大字菱平 2805-1
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	570,376円 (うち支援金: 410,000円)

事業内容

① 白鳥映雪の創作歴上空白となっている南相木村時代に描かれた貴重な作品を掲載した図録を刊行し、各出品者、東信地区の小・中学校、図書館を含む公共施設に配布した。

- ・サイズ A4
- ・印刷数 500冊
- ・配布数 376冊

(講演会: 52冊、女性人物デッサン会: 12冊)

② 8月24日(土)、白鳥映雪画伯のご息女である白鳥アキ子氏と、美術館学芸員による対談形式の講演会を行なった。白鳥映雪の美人画継承の講義として、9月28日(土)・29日(日)に女性人物デッサン講座を開催した。

1 映雪画伯の人柄にふれる講演会 「素顔の映雪」

- (1) 日時 令和元年8月24日(土)
- (3) 参加者 52名

2 女性人物デッサン講座 (2回シリーズ)

- (1) 日時 令和元年9月28日(土)・29日(日)
- (3) 参加人数 9月28日(土): 12名、29日(日): 9名
延べ21名

事業効果

①図録を各出品者、東信地区の小・中学校、図書館を含む公共施設に配布し、形ある資料として後世に伝わった。

②

1 当時の画伯が描いた小下図やスケッチブックなども合わせて展示し、対談形式による作品の解釈を踏まえ、知られざる白鳥映雪画伯の人物像に迫ることができた。

- ・目標講演会参加者: 50名
実績52名 対目標比4%増加

2 目標参加者数には届かなかったが、少人数になったことで、1人1人に濃密な人物デッサンの指導ができた。

- ・入館者目標 30人、実績1日目 12名
2日目 9名 延べ21名
対目標費30%減

今後の取り組み

今回作成した図録を館の資料として保存し、「まなびのまち造形講座」での配布や、談話室に資料閲覧スペースを設けるなど、館の一層の充実を図りたい。

② 白鳥映雪の継承事業



「素顔の映雪」講演会 (白鳥映雪館)

【目標・ねらい】

- ①白鳥映雪作品の記録
- ②白鳥映雪画伯の人物像・作品理解を深め、後世に継承する。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ①貴重な作品を収録した図録を刊行し、資料として保存する事ができた。
- ②図録を各出品者、東信地区の小・中学校、図書館を含む公共施設に配布した。講演会を開催し、図録の配布を講演会、女性人物デッサン講座で配布したことにより、白鳥映雪の功績を後世に伝えることができた。講演会の目標参加者数が4%増加。女性人物デッサン講座の参加者数は、目標を達成できなかった。(70%)女性人物デッサン講座の内容では、濃密なデッサン指導を行なう事ができた。